

## 平成31年度第3回白井市市民活動推進委員会（全体会）

- 1 開催日時 令和元年5月31日（金）午後1時～午後2時
- 2 開催場所 白井市役所 本庁舎3階 会議室301
- 3 出席者 関口宏聡委員長、清水洋行副委員長、黒添誠委員、福留千亜紀委員、秋本紀子委員、大田茂子委員、迫田妙子委員、吉井信行委員、五十君みつる委員、浅海仁美委員（名簿順）
- 4 欠席者 渡辺真巨委員
- 5 事務局 岡田課長、松岡係長、長谷川主事  
しろい市民まちづくりサポートセンター 石垣センター長
- 6 傍聴者 1名
- 7 議 事
  - (1) 平成30年度白井市市民団体活動支援補助金公開成果報告会について〔公開〕  
（資料1、2）
  - (2) 平成31年度白井市市民団体活動支援補助金の審査結果について〔非公開〕  
（資料3、4）
  - (3) しろい市民まちづくりサポートセンター 平成30年度利用者報告について〔公開〕  
（資料5）
  - (4) 今後の委員会予定について〔公開〕

### 8. 会議概要

[委員長] そうでしたら、令和元年度の第3回白井市市民活動推進委員会（全体会）を始めたいと思います。

本日は皆さんお忙しいところご参加いただきまして、ありがとうございます。全体会は久しぶりの気がして、補助金の審査会ときは限られた人数でやっておりましたので、改めましてよろしく願いいたします。

そうでしたら資料の確認とか、まず事務局のほうからよろしく願いいたします。

《事務局より出欠確認、会議資料と議題を確認》

[委員長] ありがとうございます。それでは早速ですけれども、時間も限られておりますので、議事の一つ目です。

- (1) 平成30年度白井市市民団体活動支援補助金公開成果報告会について[公開]  
(資料1、2)

[委員長] 平成30年度白井市市民団体活動支援補助金の公開成果報告会、この後の内容についてご説明のほうをよろしくお願ひします。

《事務局より、資料1、2に基づき説明》

[委員長] ありがとうございます。公開成果報告会について、何かご質問とかご意見とかあれば。どうぞ。

[委員] どうでもいい話なのですけれども、資料1のタイムスケジュール、平成31年と書いてあるのですけれども。

[事務局] すいません。令和、なかなか新しい元号にまだなれていなくて、令和元年に訂正してください。

[委員] 委員長にちょっとあれなのですけれども、白井市のほうは、ことしは平成31年度と通す。私もほかのところで令和元年度ではないかと言ったら、白井市は、平成31年度で今年度中はやるということなのだそうです。

[委員長] そうなのですか。失礼しました。

[委員] それはつまらない話で申しわけないのですけれども。

それからもう一つ、今のスケジュールの中で、意見交換会の前講座があるのですけれども、講座は、委員はみんな出る。さっきの〇〇さんと〇〇さんいらっしやらないのですけれども、聞かなくてもいいのですね。みんな出るのですか。

[事務局] できれば出ていただきたいなど。業務とかそういう都合であればいたし方ないのですけれども、基本的には出ていただきたいです。

[委員] わかりました。

[委員] 出たほうがいいですね。子供預けていて、さすがに4時半はきついなと思っていて。

[事務局] そういう事情があれば、個別に言っていただければ対応します。

[委員] 講演会だから、一応自由参加でいいのでしょうか。委員会のあれではないので。

[事務局] 一応出席していただきたいのですけれども、ご予約とかご用事がある方は、残念ながらということで。

[委員] 委員会の中に入っているものではないのですよね。一応終わった後の話だから。

[委員] 私もこの通知をいただいたときに、あれ、こんなのあるのだと思ったのです。PR不足というか、これをやりますよとお伝えするのは、どの時点で決まったのですか。

[事務局] これが決まったのは、話としては、補助金の今年度の審査が4月19日までやっていたのですけれども、そのときに、委員長と副委員長と市民活動支援課で今回、公開成果報告会をやられる団体さんに、何とか公開成果報告以外のプラスアルファで支援できたらいいなということで相談した際に、補助金の講座なんかができればいいのじゃないかということで、先生と打ち合わせをさせていただいて、広報しろいとかホームページとかメール配信とか、まちサポの登録団体さんに手紙を発送したりとかはしているのですけれども、周知不足だったところがあったかもしれません。

[委員長] ほかいかがでしょうか。よろしいですか。

きょう、やるようなことのお話なので、せっくなので時間も限られておりますので、次の議題のほうに時間を割きたいと思います。

そうしましたら次、二つ目の議題なのですけれども、平成31年度白井市市民団体活動支援補助金の審査結果についてということなのですが、これは一応非公開となっております。

(2) 平成31年度白井市市民団体活動支援補助金の審査結果について [非公開]

(資料3、4)

(理由) 白井市情報公開条例第9条第1項第6号に基づき、補助金審査の内容のため。

[委員長] そうしましたら、次の3番目の議題、しろい市民まちづくりサポートセンターの平成30年度の利用者報告について、お願いいたします。

(3) しろい市民まちづくりサポートセンター 平成30年度利用者報告について [公開]

(資料5)

《事務局より、資料5に基づき説明》

[委員長] ありがとうございます。そうしましたら、皆さんからのご意見、ご要望等々ありましたら、順にお願いいたします。

[委員] 4ページあたりから見ていきますと、市民活動推進センターから、まちサポートと、左側が推進センター、右側がまちサポになっているのです。ところが、9ページから実績になると、まち、推進、まち、推進と逆になっているので、ちょっと違和感があったのですけれども、来年度は推進センターと比較するわけではないのでしょうから、たまたまことしだけなのでしょうけれども、見ていて、あれ、何でこっちは変わっているのと思ったので、特に意味はないと思いますけれども、感じましたということで聞いておいて

ください。

[事務局] ありがとうございます。

[委員長] 見やすく改善していただくということで、お願いします。

ほかはいかがですか。

[委員] 2ページ、七つの機能を持っているということでお話がスタートしたのですが、前回発表のときに、7番について私が質問したことを自分で覚えているのですが、きょう見たら、調査・研究機能、実績なしという報告でした。前回の〇〇さんのお答えでは、今後検討して何らかの形をとっていきますというお答えだったように記憶しているのですが、実績がないということは、来年度に向けて考えていきますよということだと思のですが、そのあたりはどのようにお考えでしょうか。

[事務局] まちサポの七つの機能は、段階的に取り組んでいくということで、重点項目という位置づけで、まず初年度は拠点機能、情報収集・発信機能が二つ重点項目でございました。今年度は相談機能、資源の掘り起こし・提供機能、こういったところが重点項目に当たっております。調査・研究機能は、来年度重点項目になっております。

ただ、来年度取り組んで来年度調査実施というのは非常に難しいので、どういったフレームで何を調査・研究していくかというのは、事前に少しずつ情報を集めたり、検討していかなくてはいけないというふうには考えております。まだ、実際のところ具体的にお示しできる内容は整っておりませんが、引き続きそちらのほうはアンテナを立てていきたいと思っております。

[委員長] よろしいですか。

[委員] まちサポの今の話にも関連するのですけれども、調査・研究ということについて、サポートセンターの職員だけというのか、サポートセンターの運営会議とか何か、そんなのはあるのでしょうか。

[事務局] 特にはないです、今は。

[委員] けれども、それをしないと、調査・研究、例えば1人でというか、職員、所長さんだけが調査・研究を何か考えるということよりも、そこで運営会議とか、その中に何かをつくるというのは、市のほうとしては考えていないのですか。

[事務局] ほかのセンターの場合ですと、利用者団体の連絡会とか、そんなようなところがあるので、この辺のところは、まちサポの中にうまく利用者の方々からどんなような意見があるのかというようにいただけるような、そういうような組織みたいなものはつくっていききたいとは思っておりますが、ただ、まだ現在は、具体的にどうしていこうかというところはまだ決まっていないような、そんなような段階でございます。

[委員] 多分、推進センターは業務委託していたのですね。ですから、当然監督しているのけれども、今のまちサポは何でしたっけ、業務委託じゃない、市の。

[事務局] 直営です。

[委員] 直営ということは、市が何かこういうふうには指導していかないといけないということですね。調査・研究はこういうことをやるか、市が指導して、七つの事項についても取り組みを考えていかなきゃいけないということですね。

利用者だけというのはまた別の話であって、この七つを何かをするための問題提起というのは、市が主体的に、直営ということであれば市の仕事ですから、それは市が考えなきゃいけないのではないですか。

[委員長] 先ほどおっしゃられていたとおり、いきなり重点項目からやっていくというのは私もわかるのですけれども、とはいえ、来年度いきなり調査・研究でやれるかという、それは困難だと思いますので、今年度から取りかかっていたら、例えばアンケート調査をするにしたら、アンケート調査の送付先のリストがなければアンケート調査もできないので、来年度やるのであれば、来年度に向けた準備というのは今年度から取りかかっておかないと、かつ七つの機能はお互い独立しているわけじゃなくて、例えば拠点機能の登録団体数74ということでしたけれども、アンケート調査を送るついでに利用登録しませんかみたいな営業をするとか、母数が、この白井市内には一体NPO法人と市民活動団体が幾つあって、そのうち幾つがNPO法人なのかとか、そういうのがわかってくると、我々も評価しやすいということになってくると思うので、ぜひとりあえず調査・研究は来年度の重点だからやらないということじゃなくて、ぜひ今年度からやっていただければと思いました。

[委員] その件なのですけれども、七つ上げられている中の5番と7番って物すごく近いと思うのです。そこをうまくやれば、分けなくても、その中でうまく運用していくのじゃないのですか。これってどちらかという、具体的に活動している団体さんとの一つの交わりみたいな、寄り添っていくみたいな、そういう感じですね。この辺とうまくできるのじゃないのですか。期待しています。

[委員長] 何かありますか。大丈夫ですか。

[事務局] 交流もいろいろ、私たちも交流の場づくりとかそういったことも考えてはいますが、そういった中で団体さんからのニーズの把握ですとか、これからの展望、展開なども伺いながら、それが調査・研究につながるような企画になっていけばいいなと、そういった事業展開ができればいいなというふうには思います。

[委員長] ほかはいかがでしょうか。

[委員] 10ページの表の中には、5月7日からまちサポが開所ということで、5月の会議室の213、開所してすぐで、7日から始まっている割には高い数字だなと思っていて、利用人数と捉えていいのかなと思ったのですけれども、初めのほうは開館するとまだ少ないのかなと思うのですけれども、結構多くて、その後は少なくなっている。何か特に理由があるのかなと思って。

[委員長] いかがでしょうか。5月が途中からなのに結構多いなというところは、何かありますか。

[事務局] 具体的な団体の数はわからないのですが、お試してみたいな感じで、見学者も非常に多かったですし、初めてどんな感じの会議室か使い勝手を確認したいというような感じで1回使われてという団体さんが多かったように思います。夏場は、定例会議自体も少なかったの、おいでになる方も少なかったのですが、秋からはまた、そういった団体さんも戻ってこられてというふうな流れだったかなと思います。

[委員長] よろしいですか。

[事務局] 先ほどの補足で、実は今年度の4月と5月の会議室の実績というのを人数だけ把握しているところなのですが、5月27日現在で4月は232人、5月は264人ということで、また総会の時期ということもあって、会議室、前年よりも伸びて活動されている。ことしもゴールデンウィークが長くて、4月も5月もお休みが多かったのですが、こういうような形になっています。

[委員長] 稼ぎ時ということですね。

[事務局] 当初、昨年度、市民活動推進センターのときには、会議室とかを利用するに当たっての料金というものが無料だったのです。まちづくりサポートセンターに変わってからは、利用料金を取るようになっております。ですので、その辺のところ、当初の5月、6月に関しては、新しいところというようなところもあって、もしかするとちょっと人数が多くなったのかもしれないのですが、その後は多少下がってはきておりますが、先ほど事務局が話をしたように、人数のほうもここにきてまた大分ふえてきているということで、料金を取りながらの施設であっても大分定着をしてきているというふうな、そんなような見方をしております。

[委員長] ありがとうございます。時間もあとちょっとなので、あとお二人ぐらい。まだきょう発言されていない方、いかがですか。

[委員] 2ページのところで幾つか疑問があるのですが、機能の3のところについて、4のところで、資源の掘り起こしということですのでごく積極的に取り組まれたのだなというふうに拝聴したのですが、資源というのが、ここでは人材、もの、情報、資金等ということになっているのですが、この「資源の掘り起こし機能」の中だと人的資源、白井の中にどんな人材がいるかということを開発するというのと、それに向けての情報の提供とか、知識の提供も積極的にされているのだなというふうに思ったのですが、そのほかにも資金、活動の立ち上げだったり、継続に必要な資金だったり、一般的には活動場所という、そういうことの掘り起こしとかしたいという財源とかでは、お金だったら市外から何か持ってくるということもあり得ると思うのですが、活動拠点だと、まちサポさんだけでなく、市内にそれぞれのところに使える場所とかという、そういうニーズもあるのかなというふうに思うのですが、そこはどうなのか

など。現在、人材・情報提供というところに重点を置かれているというところも何か理由があるのかなということをお尋ねしたいのと、それと関連するかもしれないのですが、相談機能もすごく積極的にされていて、すごいなと思ったのですがけれども、その中で余りそういう市民団体からのそういうニーズが上がってきていないのか、あるいは上がってきているけれども、対応が難しいということなのかというところで教えていただければと思います。

[事務局] まず資源の掘り起こしですが、人材については、ご相談を受けて、その方とマッチングするようなこととおつなぎすることで活性化するようなことも、二、三、ご相談を承る中ではございました。

ものについては、例えば登録団体の桜台小学校が、周年行事でジャンボかるたというのをつくったのですが、それを地域のいろいろな出来事や歴史的なエピソードなどをかるたにして子供たちがつくったのですが、それを資源と捉えてまちサポで展示して、それをごらんになった方が、ほかのエリアでまたかるたをつくと、地域資源に目を向けてかるたをつくるようなことがありました。市民活動というレベルではないのかもしれませんが、そういうまちのよさとかも見直す視点とかもご提案したり、おつなぎするということがありました。

資金については、まちサポ内にラックがありまして、民間の助成金の情報を常にご提供しているのと管理もしています。さっき、〇〇さんの民間の助成金の話がありましたが、一度まちサポでもご相談を承って、いろいろ情報提供もさせていただいている。あと、補助金の講座なども資金獲得の団体活動を継続するための資金獲得の情報提供の一環と捉えております。

場所のことについて、情報が私たちもまだ十分にはないのですが、逆に私たちが場づくりをして、何か今後やっていけたらというふうにも思いますし、そういったところで今年度、資源の掘り起こしは重点項目でもありますので、取り組んでいきたいと思います。

次の2点目の相談についてですね。

[委員] 相談は、何かそういう資金とか場所についての相談というのが、余り団体から今は上がってきていないのかと。

[事務局] 団体の相談の中で一番多いのが、団体運営、団体の中での起きたことだったり、あと立ち上げの相談が多いのです。非常に件数が多いのも、立ち上げなどは1回では相談が終わらないので、何度かお話をして件数が積み上がっているといったようなこともあります。団体の運営についても、例えば補助金のご案内をすることもありますがけれども、なかなか運営を改善するというのはなかなか時間がかかるので、そういったことで何回か寄り添って件数が伸びているといったこともあります。

ですので、なかなか相談を受けながらニーズをどんどん集めるというところまで行っていないのですが、回数を重ねることに少しずつ地域のニーズ、市全体で取り組まなきゃ

いけない課題解決もありますし、そのエリアで発生している課題もありますので、そういったことを集めているような状況で、まだマッチングとか課題解決には至っていませんけれども、今年度はそういったところも取り組んでいきたいと思えます。

[委員] ありがとうございます。

[委員長] よろしいですか。時間もシビアですから、残りの方はいかがですか、よろしいですか。

[委員] まちサポさんに聞けばいいのか市に聞けばいいのか、ちょっとわからないのですけれども、6ページのまちサポ登録団体一覧なのですが、今年度登録で自治会様があるのです。例えば自治連合会を大山口小学校区支部はあるのだけれども、自治連合会のほかの小学校区支部は入っていなかったりとか、自治連さんだけじゃなくて、自治会自体が全てあるわけじゃないのです。これは自治会さんがみずから登録しに行かないと、ここには載らないということですか。それ以外のところで昔言われていた、みなしあたりで、自治会さんは名前が載っていたりするじゃないですか。その差がわからないかなという。

[事務局] まちサポは、基本的には登録を申し出ていただいて、利用していただくというような形になる。例えば、市の減免とかだったりすると、既に自治会さんの名簿が、使っていようが使っていまいがリストにはなっているのですが、まちサポを利用するためには、まちサポに登録をしていただいてというような形になるので、今おっしゃったように、大山口小学校区支部さんなんかは、去年よく大山口小学校区支部の会議をまちサポでやられたのですけれども、例えば桜台の小学校区支部さんだったら桜台センターという拠点があったり、三小だったら富士センター、二小だったら公民センター、一小は白井コミュニティセンターというように、拠点があるところは、登録をしていない傾向には今のところあるのですが、それ以外の自治会さんによっては、あえてここまで来ていただいて会議をしていただいているようなところも。例えば、星と時のヴィレッジ自治会さんなんかも登録はしていただいているので、基本的には登録をしていただければ使えるというような形です。

[委員] 登録団体さんというのは、登録したことで使えますよというだけではないですよ。ほかの今おっしゃった、いろいろな機能も使えますよということになってくるのですね。各自治会さんには、そのあたりというのは同じようにお知らせはできているのかなと思って。

[委員] 済みません、自治会長をしているのでお答えしますけれども、今、〇〇さんが言ったように、基本的には地域にある複合センターとか公民センターとか似たようなものがあるのです。そこは一応登録してありますから、そこはまた安く使えるというものもありますので。このまちサポまで、例えば西白井から来るのにどうやって来るの、みんなが集まるというのもなかなか大変なのです。会議室がないから来るというところが、大山口小学校区もそうですし、そういったところは、会議室とか集会所みたいなものがないと



ころがそういうところを利用していると、そういう感じです。

だから自治連としては、こういうのがありますよということは、同じ市民活動支援課が担当していますので、PRはしているのですけれども、必要に応じてそれぞれが判断していくということです。

[事務局] 追加でよろしいですか。自治会さんは、印刷機などもまちサポのをご利用いただけるのですけれども、登録していただくと、印刷機の予約ができるのです。例えば、総会の資料を大量につくらなくてはいけないときに、何人か集まって予定どおり作業を終えたいなどというときには、予約をしていただくのが一番確実ですので、そういったことにメリットを感じて登録していただいている自治会さんもあります。

[委員] 周知は同じように平等にされた中で、各自治会さんが判断して登録されているということでもよろしいですか。ありがとうございます。

[委員長] お時間も過ぎてしまいましたので、議題の3番目はこれにて終わりたいと思います。

最後、今後の予定について、事務局のほうからよろしく願いいたします。

#### (4) 今後の委員会予定について[公開]

[事務局] 今後の予定なのですけれども、先ほどスケジュールでお話ししましたとおり、この後2時15分から公開成果報告会がありまして、その後、助成金講座というような形でご出席をお願いいたします。

なお、次回の市民活動推進委員会は10月ごろなので、4カ月、5カ月後ですか、ちょっとあくのですけれども予定しておりますので、また日程が近くなりましたら、事務局のほうからご連絡差し上げます日程調整で、よろしく願いします。

事務局からは以上です。

[委員長] どうもありがとうございました。

そうしましたら、これにて平成31年度第3回白井市市民活動推進委員会は終わりにさせていただいて、皆さん、下に移動ということでもよろしく願いいたします。お疲れさまでした。

資料1 タイムスケジュール

資料2 平成30年度市民団体活動支援補助金公開成果報告会等開催概要

資料3 平成30年度白井市市民団体活動支援補助金採択団体の実績報告[非公開]

資料4 平成31年度白井市市民団体活動支援補助金の審査結果について[非公開]

資料5 平成30年度しろい市民まちづくりサポートセンター事業報告